

行田 歴史系譜 347

資料がかたる
行田の歴史
47

忍藩主松平家の刀剣く將軍からの拝領品く

忍藩主松平下総守家には、かつて庵丁正宗、来国光、大般若長光（いずれも国宝）など数々の名刀が伝わっていたといわれます。今回は松平家家臣の奥平家に伝来した「侯家御拝領物記」からその一端を見ていきたいと思います。この記録は松平家の初代忠明から四代忠刻までの歴代当主が徳川將軍家から拝領した品物などを列挙したものです。そこから刀剣のみを抜き出すと次の8振りとなります。

- ①青木郷義弘（無銘・2尺2寸8分）
- ②備前助直（無名・2尺3寸・葵御紋五所物御鐔銚）
- ③大和守宇多国房（有銘・2尺3寸3分）
- ④備前吉家（無銘・2尺2寸9分）
- ⑤三原正真（有銘・2尺1寸8分・菊桐御紋修飾）
- ⑥相州家広（有銘・2尺3寸5分・菊桐御紋修飾）
- ⑦筑前守左定行（無銘・2尺4寸1分・三所飾・赤銅酸漿紋三宛有之・後藤宗乗作）



安永9年(1780)侯家御拝領物記(当館蔵奥平家文書)

⑧来国俊（有銘・2尺6寸3分）
松平家は参勤を許され江戸から国元の居城へ向かう折、代替わり直後の將軍に拝調した時には直接刀剣を拝領して授受という行為は徳川將軍と大名が主従関係を再確認する儀礼そのものであったのです。

また、三代忠雅は京都御所の造営御手伝を拝命した宝永6年（1709）4月23日に③を、任務を終え京都を去る正徳3年（1713）5月18日に内裏から⑤を、さらに仙洞御所からは⑥を拝領しています。忠雅は松平家歴代の中でも功績を残した名君の一人であり、京都の朝廷とも任務を通じて関係を保持していたことがうかがえます。

この他、名刀に関する仕事を請け負った埋忠一門の作業記録の一部を抜き出したといわれる『埋忠刀譜』には松平家所有品として貞宗（金象嵌）の刀や当磨の短刀が記載されています。今後ますますの解明が期待される分野といえるでしょう。

（郷土博物館 澤村怜薫）

はじめまして



令和4年4月生まれのお子さんを募集します

- 2月1日㈫～28日㈫に電話またはEメールで広報広聴課(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、3月2日㈫午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和4年2月生まれのおともだち



沼尻 凌ちゃん（長野）
令和4年2月23日生まれ
父・学さん 母・彩さん
「兄に負けず、可愛く元気に育ってね☆」



金子 陽奈ちゃん（藤原町）
令和4年2月15日生まれ
父・真也さん 母・梨奈さん
「笑顔で元気に 毎日過ごしてね」



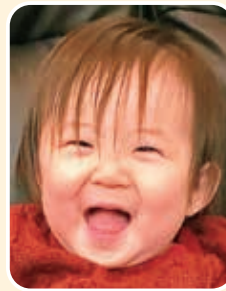
秋山 来輝ちゃん（城西）
令和4年2月1日生まれ
父・翔伍さん 母・成美さん
「お姉ちゃんたちと仲良く元気に育ってね♡」



樋口 結衣ちゃん（桜町）
令和4年2月1日生まれ
父・優介さん 母・美穂さん
「すくすく元気に 大きくなーれ！」



青柳 凛咲ちゃん（行田）
令和4年2月8日生まれ
父・大輝さん 母・千鶴さん
「スルスク大きく育ってね♡」



池田 莉子ちゃん（埼玉）
令和4年2月7日生まれ
父・政也さん 母・法子さん
「すくすく元気に育ってね♡」

今月の表紙

SUSTAINABLE(サステナブル)とは、「持続可能な」という意味で、近年、環境問題などへの取り組みに対して使われるようになった言葉です。
資源化できる缶類、ビン類、段ボールなどはもちろん、チラシや紙箱、プリント用紙などの雑誌も資源物として分別し、ごみの減量化に取り組みましょう。



詳細は総務部ホームページ



環境にやさしい
植物油インキ

市報ぎょうだは
再生紙を
使用しています